



presented by
KUSARI

R18
Contents include

美月調教編

2

彼女が墮ちる理由



彼女が堕ちる理由 改訂版

2024年6月に彼女が堕ちる理由が改訂版に更新されバージョンアップ致しました。

全ページ修正された改訂版になります。

6月中旬以降に更に修正しver2の改訂版に変更されます。

アプリに既にDLされたものを

削除していただきver2の改訂版を再DLして頂きたいです。

お手数ですが改訂版への変更よろしくお願い致します。





最近はお互いに時間が
なくてデートとか
できなかったけど

久しぶりに美月と
休日を楽しむの
はやっぱり嬉しいな

日曜日は美月と
デートか…

俺の彼女の雨宮美月は
小さい頃からの幼馴染

人付き合いが良く
明るくて美人で
性格も良いとなれば
男なら彼女にしたい
のは当然だろう

美月は学園でも有名な
美少女で中学生時代から
数多くの男に告白されて
いるのを俺は知っている

自分の彼女なのに
こういうのも
なんだけど
高根の花だと思う

中学生の時にはお互いに
もう幼さも消えていて

俺の中で美月は
ただの幼馴染から
恋愛対象に変わっていた



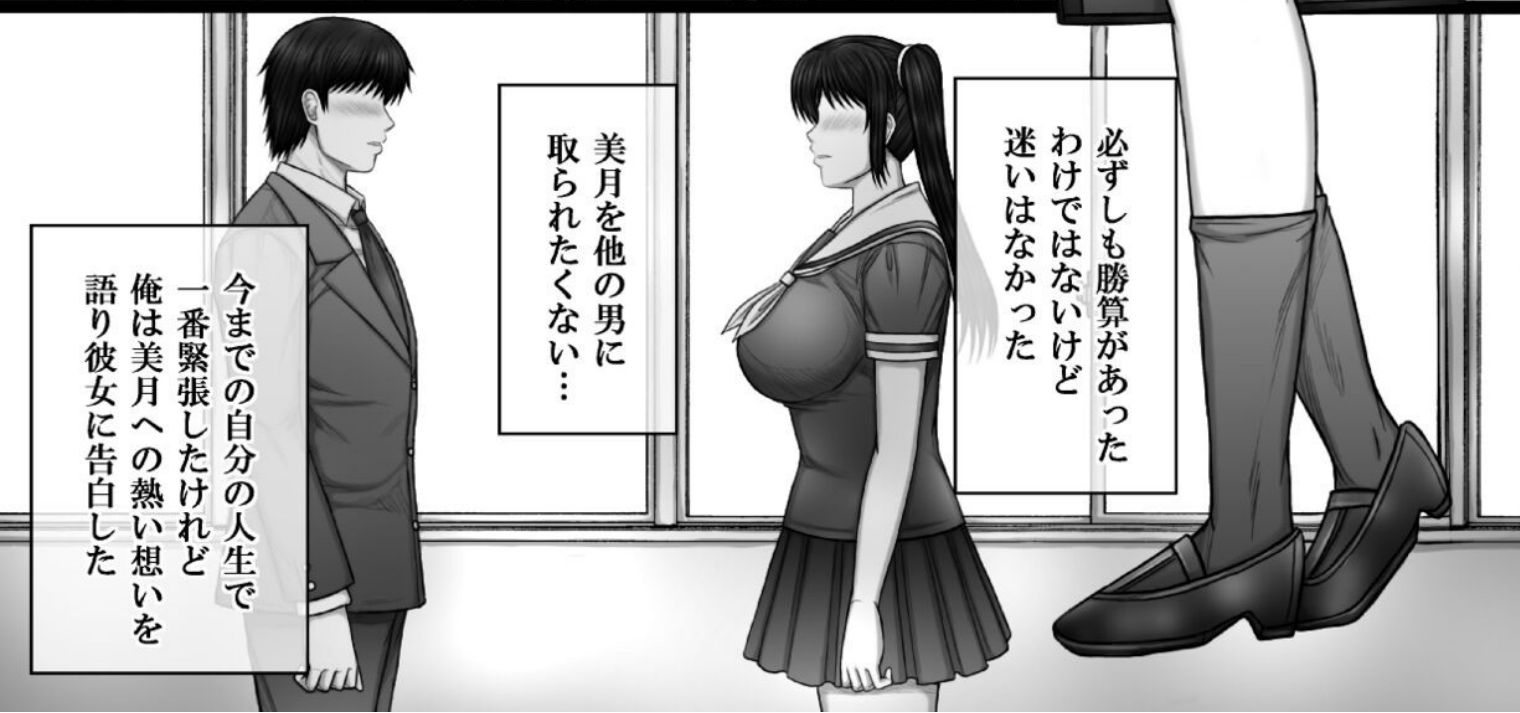
中学卒業間際でも
俺は美月に告白する
勇気がなくて

美月とはまだ
幼馴染の友達の
関係が続いていた



同じ高等学校に
入学した俺たちは
良い関係を保ちつつ
学園生活を過ごして
いたけど

校内での美月の
評判の高さに日々焦りを
感じていた俺は
ようやく彼女に告白する
ことを決意した



必ずしも勝算があった
わけではないけど
迷いはなかった

美月を他の男に
取られたくない…

今までの自分の人生で
一番緊張したけれど
俺は美月への熱い想いを
語り彼女に告白した



一世一代の告白は
見事に実り
俺と美月は相思相愛の
恋人同士になれたんだ

恋人として付き合い
始めたことによつて
俺たちは何度も楽しい
デートを重ねた

付き合い始めて
1年以上経った頃
お互いの親には友達と旅行
に行くという嘘をついて
二人で泊りがけの海水浴へ
出かけた

美月との初めての
泊りがけの旅行で
俺の心中はとても穏やか
ではいらなかったよ



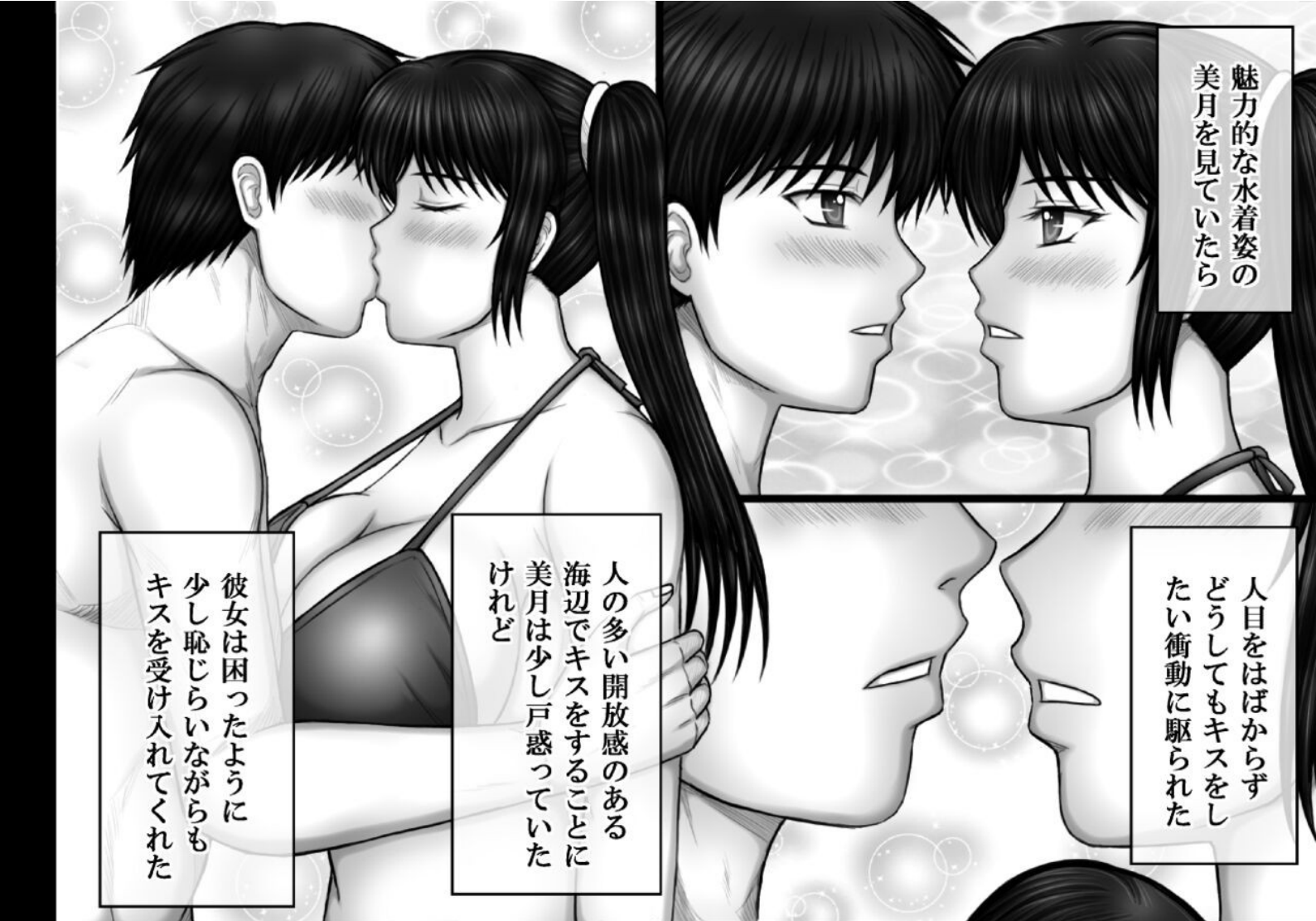
高校生になって初めて
見た彼女の水着姿は
かなり衝撃的な魅力が
あった

美月は服を着ていても
わかるくらいの
胸の大きさがあったけれど
実際に水着で見ると
その大きな巨乳の存在感に
圧倒される

誰が見てもわかるくらいの
この魅力的な美少女が
俺の恋人という事実
に自分が誰よりも幸せだと
実感できる

その日の浜辺にいる
どの女性よりも
美月は輝いていて
男たちの注目を集めて
いたと思う

浜辺の男たちからナンパなど
されないようにするために
俺は美月から決して離れない
ようにしていた



魅力的な水着姿の
美月を見ていたら

人目をはばからず
どうしてもキスをし
たい衝動に駆られた

人の多い開放感のある
海辺でキスすることに
美月は少し戸惑っていた
けれど

彼女は困ったように
少し恥じらいながらも
キスを受け入れてくれた



そしてついにお互い
恋人同士として
初めて一緒に過ごす
夜がやって来た

この旅行で俺たちが
性行為することは
既に決まっていたし
美月もそれは望んで
いたことだ

お風呂上がりのあと
浴衣の下はパンツ一枚の
とても色っぽい姿で
赤面しながら
俺に微笑む彼女に
つい見惚れてしまった

自然に手はおっぱいに
吸い寄せられていき
その感触を楽しむように
何度も揉みしだしていた

あ…っ

あ…明人…
やさしく…して

ん…っ

俺は震える手で
彼女の浴衣を
脱がした

美月の大きく綺麗な
おっぱいが目の前に
露わになり
俺の鼓動はどんどん
高まっていく

おっぱいをゆつくりと
優しく揉みながら
俺は美月にキスをする

短い間キスをした後
恥ずかしさはあったが

彼女は俺の愛撫に
感じているのか
少し身体が震えながらも
初めてで慣れていない
この拙い愛撫に
身を任せてくれる

俺は興奮して大きく
勃起した自分のモノを
美月の前に晒け出した



美月は初めて見る
勃起した俺のモノに
驚き戸惑ってしばらく
動けずにいたけれど

覚悟を決めると
その可愛い唇を開き
ゆっくりと舌で
舐め始めた

彼女は今夜のために
性行為について少し
勉強したらしいが

初めてのフェラチオで
慣れていない分
丁寧に愛情を込めて
してくれた



美月は口の中に
出された精液を
どうしようかと
少し迷っていたけど

そのまま吐き出さずに
飲み込んでしまい
俺はそれを見てすごく
動揺してしまった…



初めてしてもらった
フェラチオの快感はとても
刺激的で俺は情けないほど
あっさりとイってしまった

ん…

うっ…

んく…

ゴクッ

1回射精したけど
興奮しすぎているせいか
チンポの勃起は収まらず
俺はすぐにコンドームを
付けた

美月を寝かせて
愛撫で十分に濡れた
彼女のマンコに自分の
モノをもっていき
呼吸を整える

言葉では表せない
お互いの緊張を感じつつ
俺はゆっくりとチンポを
挿入していった

俺の両手を握りしめて
美月はまったく声を
抑えることなく
喘ぎ声をあげていた

はじめての挿入による
痛みの声ではなく快感を
感じている喘ぎ声だ

あッ

あッ

あッ

あ…あッ

あんっ

あはあ

んあッ

美月の可愛く
喘ぐ声が部屋に
響き渡る…

俺との初セックスで
痛みを感じる様子もなく
ついに美月は絶頂を迎えて
身体を震わせながらいった



性行為の前は
彼女が全く感じて
くれなかったら
どうしようかと
かなり不安だったが
その不安は完全に
払拭された

喘ぎ声をあげて
絶頂した美月を見て
自信がついた俺は
寝ていた彼女を起こし
後背位からセックスを
継続させていた





自分をもっと優しく
緩やかに性行為をするもの
だと思っていたけど
実際は美月を性欲のままに
激しく責めたてていた

もっと彼女とセックスを
していたという欲求に
駆られていく

美月が可愛く喘ぐ
姿を見ていると
どんどん俺の理性は
崩壊していき



初めてのセックスの
快感に興奮して
力がいってしまい
どうしても
止められなくなる...

こんなに強く責めて
美月は俺を嫌いに
ならないだろうか
と思ったけど



すでに二度
射精していたけれど
俺のチンポはまだ
萎えずに彼女を
責めたてていた

俺は美月に騎乗位の
体位でしたいと要望し
慣れないながらも
俺の上で動いてもらう

目の前で無防備に
激しく揺れ弾む
大きなおっぱいが
俺を魅了する

おっぱい…を
そ…そんなに
揉まないで…っ

美月は少し嫌がっていたが
つい巨乳の魔力に誘われて
セックス中に何度も
その豊かなおっぱいを
揉みしだしてしまう



はじめは消極的で
ゆっくりだった
美月の動きが
どんどん積極的になり

その様子を見た俺は
彼女がこのセックスに
対して嫌な気持ち
無いのではないかと
勝手に安堵していた

大きな喘ぎ声をあげながら
俺の上で身体を震わせ
美月の何度目かの絶頂…

今回のセックスで
彼女の身体はとても
敏感で感じやすく
イキやすいのがわかった



あつ♡

もう…
終わりにして…っ

はじめての性行為で
何度も絶頂を迎え

あはあつ

ああつ♡

あ…あ
明人…っ

だめ…っ
これ以上は…
わ…私…
壊れちゃう…っ

あんっ♡

美月は心身ともに
限界がきていたけど
俺はまだセックスを
継続させていた



ああ♡

美月…っ
好きだ…っ！
大好きだッ！

あんっ♡

あ…あつ

わ…
わたしも…

あ…明人
大好き…っ♡

この美月との
幸せの時間を
終わらせたくない

精力が続く限りは
彼女とセックスを
したかった



美月はそんな俺の
望みにしっかりと
応えてくれて

俺たちはその夜
最高に愛し合った

俺の幼馴染である
雨宮美月は
世界一の恋人だ



お互いに疲弊するほど
愛し合ったセックスは
ようやく終わり
愛しの美月は隣で
寝転んで微笑みながら
俺を見つめていた

俺も美月も笑顔になり
初めての性行為はとても
満足なものだったと思う

でも俺は彼女を
見ながら思った…



今回セックスしたことで
なんとなく美月の弱みが
見えた気がする

初めての性行為なので
ただ流されて従ってた
だけかもしれないけど

もしそれが美月の性質だった
ら俺以外の男が彼女の恋人に
なっていた場合
美月はその男に性行為で
いいように身体を
弄ばれていたのだろうか…

美月は普段は
活発で気も強いし
しっかりとした
性格なのに

セックスをしている時は
相手に全て身を委ねて
従ってしまうところがある

でもそんな仮定を
考えても美月の恋人は
この先自分以外に
いないのだから
意味はないとも思えた



二人きりの旅行
そしてはじめての
セックス体験は
俺たち二人の心の
距離を更に近づけた

美月とはそれから
何回もデートを
重ねていき
俺は幸せな毎日を
過ごしている

俺たちが恋人同士という
ことは学園内ではまだ
知られていないので
美月は学園の男たちから
今も絶えず告白されてい
るようだ



俺は付き合ってることを
公にして周囲に認知して
ほしいところだけど
美月は冷やかされるのが
嫌なので内緒にしたいらしい

でも校内をよく二人で
いることが多いから
気づいてる人もいると
思う

美月の母親の麗子さんは
すぐに気づいたらしく
幼馴染の俺が娘の彼氏と
いうことに喜んでいた



美月は俺から求めてくる
性行為を一応受け入れて
くれてるけど
それが頻繁にならないよ
うに注意された

でもセックスの時に
なると彼女はすごく
乱れ喘いでいるので
俺との性行為に対して
好意的に見える



あの旅行以降何度か
親が家にいない時に
美月を自宅に誘って
性行為をした

あのセックスの
快感がどうしても
頭から離れなくて
つい美月との性行為
を求めてしまう



美月を他の男に
奪われるなんて
絶対嫌なので
嫌われないように
しないと……



ただし恋人に性行為を
求めすぎて嫌われてしま
い別れてしまうというこ
とは聞いたことがあるの
でそこは我慢して自重し
なければいけないと思う



……いや
断られてもいいから
誘ってみようかな



今回は美月から
誘ってくれた
デートだけど…



お互いセックスする
ことにもだいぶん慣れ
てきたし

美月も性行為に対して
寛容的になってるから
たぶん大丈夫だろう



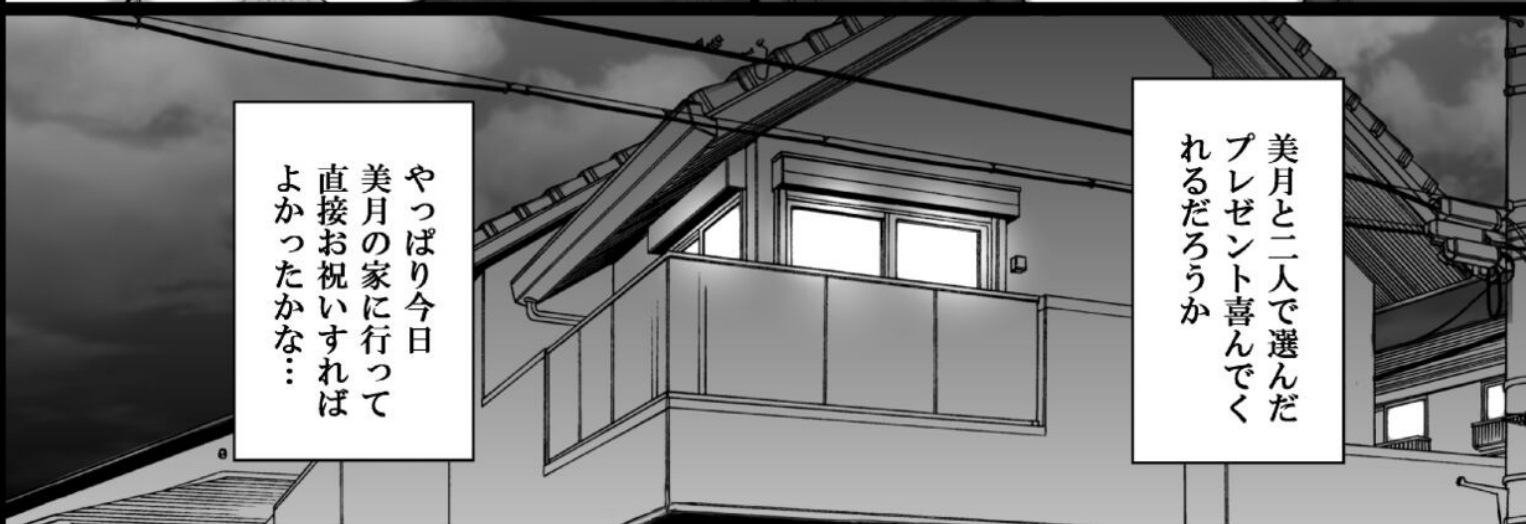
今日は麗子さんの
誕生日だし
お祝いのメールを
しておこうかな

…ああ、そうだ



…美月と性行為してる
ことは麗子さんには
バレてないよな？

さすがに学生なのに
そんなことしてるの
バレたら怒られるかも
しれないけど…



美月と二人で選んだ
プレゼント喜んでく
れるだろうか

やっぱり今日
美月の家に行って
直接お祝いすれば
よかったかな…



彼女が墮ちる理由







あっ♡

びく♡

あぁ♡

グググ♡

どうだ？
この装着パイプは
気に入ったか？

媚薬で感度が
上がった身体には
かなり効くだろ

はぁ♡

あ…あつ

あつ♡

あん♡

もう…
だめ…っ

外して…
お願い…っ



ククク…っ

まだ外すわけには
いかねえな

この装着パイプも
その目隠しも
お前を調教するための
ものだ

あ…あつ♡

ずっと継続する
パイプ責めは
気持ちいいだろ？

もっと快感を
受けいれろよ
美月♡

あはあつ

ひあつ♡



な…なにこれ…っ
どんどん…動きが
強く…なってる…ッ







積極的に
フェラチオしてくれて
俺は嬉しいぜ…美月♡

ククク…
美味しそうに
啜え込んでるな



まあこれだけ愛されれば
俺のチンポを好きに
なるのは当たり前だがな

ちがう…っ
こんなものの好きに
なってない…っ

オイ…っ
もうすぐ射精すぞ

溢さず全部
飲み込めよ

うう…っ
気持ち悪い…

ブル

んぐ…

ブル

ゴクッ♡

んんっ

あはッ

少しでも吐き出したら
お仕置きだからな

あ…ッ

しっかりと飲み込んで
俺の極上のザーメンを
味わうんだ

はあ

はあ

んあ…っ

あ…はあ

よし…全部飲み
込んだようだな

これから毎日
飲ませてやるから
楽しみにしろよ

こ…これを
毎日なんて…
そんなの嫌…っ

はあ

はあ

これくらいじゃ
俺の性欲は収まら
ないからな

まだお前の調教を
楽しませてもらうぜ

まだ…こんなに
たくさん
射精なんて…
信じられない…っ

いつになったら…
この男の無尽蔵な
精力は尽きるの…？

お尻の…中のもの

取ってくれるって
言ったでしょ…っ

はあ

とって…っ！

ハハハ…ッ

だめだ…っ
しばらくはそれを
挿れたままにする

あっ♡

ああっ♡

これからアナルも
どんどん開発して
弄っていくからな

はあ♡

あんっ

う…
嘘つき…っ
最低…っ！

しかし…一気に堕とす
ことができると思ったが
なかなか上手くないかな
ようだな

性奴隷として
ここもしっかりと
使えるようになら
ないとな♡

ああ…ッ♡

あっ♡

あッ♡

だめ…っお尻…
弄らないでえ♡

やめてよ…っ
あん…やだ…っ
ああ…ッ♡

あア♡

こいつが壊れないように
何回かやって楽しんだ後
しばらく休ませたが

媚薬の効果が時間経過で
弱まったせいかな
理性が戻っているようだ

あの媚薬を全部
使えば確実に
堕とせるだろう

お前のマンコから
愛液がタダ漏れしてる
のがよく見えるぜ♡

あんっ♡

はあ

はあ

はあ

あ…ッ

ギョッ

あはあッ

ギョッ

ギョッ

ああッ♡

あ…嫌…っ
見ないで…っ

ギョッ

ズッ

ギョッ

ズッ

だがあの高価な薬を
あまりむやみに
消費したくないな

あアッ♡

もう…
ゆるしてえ♡

びくびく

あッ♡



あんっ♡

はあ

はあッ

なにが
ゆるしてだあ？

こんなに膣内^{なか}で
締め付けておいて
よく言うぜ…っ

あんっ♡

そ…そんな
ことない…っ♡

ああッ♡

ギョッ

ギョッ

今までのこいつの
乱れっぷりを見れば
あの媚薬が本当に
強力ですこいものだ
とよくわかる

もし他の女にも
あれを使用すれば俺の
性奴隷を増やすことが
できるかもしれない

ズッ

ズッ

ギョッ

あぁっ♡

あはあ

おいっ！
幼馴染の彼氏とは
何回くらいセックス
したんだっ！

そん…なの…
言えない…っ

あッ♡

あっ

雨宮美月以外にも
性奴隷にしたい女は
まだまだいるからな
あの媚薬さえあれば
それが可能だ

憧れや恋愛なんて必要ない
欲しい女は媚薬を使って
強引に奪ってしまえばいい

性欲真っ盛りのガキに
何回この身体を使わせた
かと聞いてるんだよっ！

使わせてない…っ！

あ…っ

愛し合った
だけよっ！

あん♡

ハハ…ッ
なにが愛し
合っただあ？

おまえはこのエロい
身体を性欲処理に
使われてただけだっ

こいつの理性や反抗心は
戻ってきてるが
この調教した時間で
身体に覚え込ませた快感は
忘れることはできない

あッ♡

お前と愛し合えるのは
俺だけなんだよっ！
美月いッ！

あはッ

あぁッ

媚薬の量を抑えても
このまま毎日じつくりと
調教して快楽漬けにすれば
堕とせそうだ

あつ♡

ああ♡
膣内で吸い付いてくる
感触が気持ちいいぜえ

お前のマンコは俺の
大きなチンポが大好き
なようだなあ…っ

あッ♡

はあ

はあッ

ああ…っ

あんっ♡

あの媚薬の残りを
十分確保できれば
他の女に使用して
二人目の性奴隷を
つくることができる

このはしたない
淫乱な身体は

もう幼馴染のガキの
チンポじゃ満足できねえ
だろうよっ！

あッ♡

あんっ

はあ

はあ

はあ

あはッ

この雨宮美月と
もう一人他の女を
俺のものにできるなんて
本当に最高じゃねえか

ああッ♡

あのすばらしい媚薬を
開発してくれた奴らに
最大限の感謝を贈るぜ



お、盛大に
吹いたなあ♡

いい潮吹きじゃねえか
俺のチンポがそんなに
良かったのかあ？
ハハハ…ツ

俺としては
あの美人で巨乳の
雨宮麗子に媚薬を使って
母娘二人を性奴隷にして
孕ませたいところだが…

しかしすでに雨宮麗子は
学園長の獲物である以上
俺が手を出せないのは
本当に残念でならないぜ

まあ他にも犯りたい女
の候補はあるから
これから慎重に計画を
進めていくとするか…

…ふわふわ…してた意識がしつかりと…戻ってきてるのに…身体に興奮と…快感がおさまらない…っ





これなんかどうだ？
いいアングルだろ

ディルドをずっぽり
咥え込んだマンコと
卑猥なアナルが
バッチリ写ってるぜ♡

嫌…っ！

消して…っ！
早く…っ
お願いだからっ！

何言ってやがる
消すわけねえだろ
永久保存に
決まってるだろうが

ほら、見てみるよ
この自分のいやらしい
淫らな姿を

学園の男どもがこれを
見れば学園アイドルの
雨宮美月が実は本当は
淫乱な女だったんだと
思うだろうぜ

この画像が外に
拡散されれば
お前はもう終わり
だろうな

だめ…っ！
そんなこと…絶対に
許さない…っ！

安心しろ…お前が
俺の女として
服従する限りは

これらの画像を外に
出すことはねえぞ

く…っ

だめ…っ
こんな画像が
もし拡散されて
しまったら…

私…
もう生きて
いけない…っ

……信じて…
いいのね…?

俺は優しい男だからな
自分の女の人生を
壊したりはしねえぞ

ククク…
これからもつと
恥ずかしい映像は
撮っていくけどな

美月…お前はもう
俺の女なんだよ
俺から逃れることは
できねえぞ

わかったか?

幼馴染の元彼氏には
自分から別れるように
言えよ

……っ!

い…嫌よ…っ
明人とは…
別れない…っ!

…でも…っ
…あなたには
逆らわないから…
それでいいでしょ?

…最悪…だけど
今は…この男に従う
しか選択肢がない…

でも…いつか
ここから逃げ出せる
ときがくるはず…

どうやら
まだわかって
ないようだな



もう一度媚薬を使って
お前を従順な女にして
やりたいところだが…

…ッ！

媚薬…ッ
だめ…っあれを
使われたら…
私またおかしく
なっちゃう…っ

…しかし
まあ
いいだろう

今は拒否していても
お前はいずれ恋人を
捨てることになる



そして俺の女になった
ことに幸せを感じるだ
ろうぜ

こうして俺に乳を揉ま
れても嫌悪ではなく
快感を感じるだろう？

お前も心の奥底では
もう既に俺を受け入れ
身体を弄ばれることを
望んでいるのさ

ちがう…
私が…望んでる
わけない…っ

…でも…快感には
抵抗できなく…
なってる…っ

お前はもう俺の女で
この巨乳もそのエロい
身体全てが俺のものだ

もう…やめ…っ

揉ま…ないで…っ

あっ♡

あんっ

母親譲りの
美しい顔とこの巨乳…
お前は誰もが羨む
人生勝ち組の女だが

く…う

この先恋人の相手を
選ぶことはできないぜ

絶対に俺から離れる
ことはできない

お前も母親の麗子と
同じくこれから先は
性奴隷として生きて
いくんだからな

ちょ…ちよつと
まって…っ

母さんと同じくって…
それは…どういふこと
なの…っ？

ククク…

どういふことかと
言われても
言った言葉通りの
意味だぜ

—…えっ!?

…母親と…同じく…?
私と…母さんがって
ど…
どういふこと…っ？

標的にされたのは
お前だけじゃないって
ことだ…美月

私だけじゃなく…
母さんも…なの…？

う…嘘よ…っ！

母さんまで…
そんな…っ

…ッ！

今回の獲物はお前と
母親の雨宮麗子だ

雨宮麗子もお前と
同じように拉致さ
れてるのさ

…本当に…母さんも
私と同じように…
捕まってるの…？

フフ…信じられない
いや…
信じたくないか？

お前の母親の
あられもない姿が
ここに写ってるぜ♡

く…っ

え…

お前が信じたくなくても
こちらに送られてきた
画像を見れば
信じる気になるだろう

ほら、この画像を
しっかりと見てみる



お前と同じように
雨宮麗子も
すでに性奴隷調教が
はじまってるようだぞ

お……お……っ
お母さん……ッ!!

……ッ!

ほ……本当に……
うそ……こんな……
は……裸の……

私と……同じようにだ
母さんまで……っ

なんで……
なんで……私と
母さんが……
こんなことに……っ



——学園教師の剛田に
捕えられ監禁されてから
私は剛田に服従を強要され
そして淫らで恥ずかしい
調教を受けていた……

閉ざされた室内に
監禁されているせいで
今が昼なのか夜なのか
どれくらいの時間が
経過したのかも
私にはわからない

……ただ時間が経てば
明人が異変に気づき
警察に連絡をして
私達母娘を助け出して
くれるかもしれない……

明人からの救出に
一縷の望みを託しつつ
もし助けが来ないようなら
私が母さんを何とかして
助け出さないと……



突然…満面の笑みを浮かべた
剛田に学園の制服を渡され
それを着るように命令された

いいぞ、美月い
よく似合ってる
じゃねえか

普通の学園の制服とは違って
胸の部分が無い卑猥な学生服…
それを着用して剛田の指示に
従いポーズをとって撮影される

当然嫌だけど…今の私に
この男の命令を拒否する
ことはできない



すでに色々恥ずかしい
画像を撮られているせいか
抵抗心も薄くなり…

そうだ…しっかり
見えるようにしろ
そのまま動くなよ…っ

すごくいいぜ…
マンコもアナルも
バッチリ撮れて
いい感じだ

私は彼の指示通りに従い
エッチでいやらしい
ポーズをとっていく

お尻にこんなものを
挿れているところを
撮られるなんて…

とても恥ずかしくて
死にそうだけど
今は耐えるしかない…

どれだけ恥ずかしい画像
を撮られたとしても
この男が警察に捕まれば
撮られた画像は外に流出
しないのだから…っ

…もしもこの画像が
外に流出してしまったら
私はもう終わり…

しかしほんとに
エロくて綺麗な
マンコだ

ハハハ…ッ
アナルビーズが
エロさを際立たせて
すごくいいぜ

俺の美月は
エロモデルとして
最高だな♡

この外道に必ず法の
裁きを受けさせる…っ

だけど絶対にそうは
させない…っ
死んでもそれだけは
阻止しないと…

お前のマンコ見てたら
また興奮してきたぜ

すぐにまたセックスを
再開してそのエロ穴に
チンポをぶち込んでやる
からな

今までと
違うのは…

ほらほら…
しっかりと
マンコ弄って
オナニーしろよ

ん…んっ

んっ♡

くう…っ

スマホではなく
ビデオカメラで
撮影されていると
いうこと…

お前がオナニーで
イクところを
撮影してんだから
手を抜くんじゃねえぞ

んうっ♡

お尻にアナルビーズを
挿れたままオナニーする
ことを強要された

チヌッ♡
チヌッ♡
チヌッ♡

あっ♡

手を止めるなよ…っ
イクところをみせろっ！

私がオナニーや
セックスしている
ところをずっと撮影
するつもりなの…？

ああっ♡

あっ♡

イ…くっ♡

カメラで…撮られ
ていると思うと…
余計に…緊張して
感じちゃう…っ

ああっ♡



学生服姿のお前を
見ると興奮度が
増すぜ……

学校で会うたびに何度
お前を強姦してやろう
かと思ったことか

学生服姿のお前を
犯してやりたいから
わざわざその服を
用意したんだぞ

私がオナニーでいった
あとすぐに……興奮した
剛田が私に襲いかかり
もう何度目かになる
セックスがはじまった

これからはもっと
色々な衣装を着せて
楽しませてもらうぜ

コスプレセックス
ってやつだ

この……
変態……

こんな下劣なクズ男に
私は抵抗もできず
弄ばれるしかないのね

拒否しても
無理なのは
わかってる…

あぁっ♡

あっ♡

何を着させられるに
しても今の私は従う
しかない…

あ…っ♡

色々なエロ衣装を
調達しないといけ
ねえな♡

はぁっ

あんっ♡

あッ♡

やさっ

はぁ
はぁ

やさっ

やさっ

やさっ

まっつっ

激しく揺らさ
ないで…っ

よおし…っ
もう射精するぞ…ッ

あ…あぁっ
だめえ…っ♡

あぁッ♡

やさっ

びくっ
びくっ
びくっ

学生服姿の美月に
膣内射精しだ…ッ！

イクッ♡

ビクンッ

ビクンッ

ビクンッ

ビュルッ♡

あぁっ♡

あ…あぁっ♡

あはぁっ

ハハハ…っ
お前も一緒に
イケたようだな♡



射精した後も
剛田は休むことなく
私のお尻を執拗に
責めて弄ってくる…

あんっ♡

ああっ♡

あはあ♡

んあっ

このアナルで快感を
感じるためにも

こうしてしつかりと
ここを開発調教して
おかねえとな♡

どうだあ？
気持ちいいか？

あアッ♡

ズポッ

ズポッ



ひあっ♡

あんっ

美月の可愛いアナルを
こうやって弄って
気持ちよくしてくれる
のは俺だけだぜえ♡

…お尻を弄られるなんて
気持ち悪いはずなのに…
私はいつの間にか…快感を
感じるようになってる…

ああ…っもう…
いいでしょ…っ

そんなに…お尻を
弄らないで…っ

あっ

だ…だめえっ

あ…あっ♡

ああっ♡

鏡に映る今の自分の姿を見るのはとても恥ずかしい…

んうっ

ん…っ

く…っ

さて…
またこいつを
挿れてもらうぞ

今度は写真ではなく動画として撮影するからな

嫌いな男に身体を縛られて胸を揉みしだかれているいやらしい自分の姿がそこに映ってる…

やっぱり女をこうして拘束するのはいいな、手の自由を奪うってのがそられていいぜえ

ああ♡

あっ♡

はあ

ああっ

だめ…っ
こんな…っ

ああ…っ
嫌…っ

今回はこんな姿を…
動画で撮影するなんてほんとにこの男は最低なことをする…っ

すでに縛られて
こういうものを挿れているところを…
写真で撮られていたけれど…

ああん…っ

あ…あ♡

ああッ♡

ビクッ♡

ウイイイッ

ビクッ♡

ウイイイッ

ブル

ブル

ブル

マアッ♡

マアッ♡

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ウイイイッ



ほら、見てみろよ
愛液がどんどん溢れ
出してくるぜえ♡

あ…あぁっ

んぁっ

あっ♡

いやらしい汁を
こんな大量に
溢れさせて

ほんとに
お前のマンコは
はしたないな

あはあ♡

あぁッ♡

んぁぁっ

あ…あぁ…っ♡
お…お願い…っ

あんっ

んぁっ

あは♡

あぁッ♡

ビクッ♡

あッ♡

あぁ♡

止めるわけねえだろ
お前はここの電マの
刺激と快感で
何度もイキまくれば
いいんだよ…っ

もうだめ…
止めてえ…っ



だめえ

あはあ

あっ♡

あっ♡

あッ

また……くる……
きずを……！

イ……クッ♡
イク……ッ♡♡



あああ♡♡

あッあ♡

イツ……クうううッ♡♡♡♡

……このあともずっと
しつこく責められて
私は恥ずかしいくらいに
何度も悶えながらいつて
しまった……

こうして後ろからやると
犯している感覚を存分に
味わえて支配欲が満たさ
れていいな…っ

休むことを許されて
私は眠りににつき…
そして起きたら
また剛田に無理やり
セックスを強要される
その繰り返し…

これだけセックスすると
この男と性行為する事が
当たり前のような感覚に
なってきた
私はそれが本当に怖い…

それにこの体勢なら
お前の可愛いアナルが
バッチリ見えるぜ

あはあ♥

ああんっ

あっ♥

ブルンッ

ああっ

はあ

はあ

あッ

あんっ♥

んあっ

ガクッ

ガクッ

ブルンッ♥

あ…っ
や…やだ…っ

あッ

だめ…っ
見ないで…っ

あんっ♥

ガクッ

ガクッ

ハハ…ッ
何が見ないでだ

ズッ
ズッ
ズッ



いまさら気取って
んじゃねえぞっ

あッ♡

あ…ああッ

あんっ♡

あはあッ

俺の女であり
性奴隷のお前は

ああッ♡

マンコもアナルも全部
見られてあたりまえの
立場ということ覚えて
おけよ…っ

あアッ♡

あはあ♡

あんッ♡

お前の身体全てが
俺のものだからな

性奴隷…下劣で
最低な言葉だけど
否定できない…っ

ああッ♡

はあ

あッ♡

ああ…だめ…っ
そんなに激しく
突かないでっ

たしかに今の私は
この男に性奴隷の
ような扱いを
受けているから…

あ…ああ



ん…んっ

あ…はあ

はあ

はあ

あ…んっ

はあ

はあ

ん…あん

はあ

あはあ…

ちゃはっ

はあ

はあ

んあ…っ

あ…あっ

んく…っ

ん…ふっ

ん…んっ

んうつ

あ…はあ

あん…ん

へへ…

ほら…
もつと俺の唾液を
飲めよ…美月い♡

んっ

んん…っ

あ…嫌あ…っ

んう…もう…

飲ませ…ないで

また私は剛田に
無理やりキスを
されている…
明人とする時とは
全然違う強引で
乱暴なキスを…

はじめてキスを強要さ
れてから…
そのあと何度も
この男と舌を絡ませる
濃厚なキスをしていた

嫌悪感の強い長い時間の
執拗なキスは本当に
この男の最低な人間性を
よく表していると思う

なんとなくだけど…
この不快なキスには
私を自分のものだと
わからせるかのような
そんな嫌な感じがする

媚薬の消費は抑えたいが
しかしある程度は媚薬を
使用して調教しないと
こいつがこのまま反抗心が
強く服従心が低いようでは
まずいことになる…

オイ…っ

俺のチンポがお前の
マンコに完全に
フィットしてるのが
わかるか？

あっ♡

随分と俺の
チンポに馴染んだ
ようだなあ♡

あ…何…あん
言ってるのよ…っ

な…馴染んで…
なんて…ない…っ

あ…あ

んっ

あんっ♡

調教期限が過ぎれば
学園長にしばらく美月を
譲渡するのだから
しっかりと性奴隷調教の
成果を見せないと
学園長の俺への評価が
下がってしまう

ほらっ

俺に素直に
お願いしろよ

あッ♡

あはあっ

あんッ♡

い…嫌…っ

もっと子宮を突いて
くださいと言えっ！

子宮…突いちや
だめえ…っ

あ…あっ

ギィッ

ギィッ

とにかく期限まで
この監禁部屋で毎日ずっと
ハードな調教をして
主人である俺に性依存する
淫乱なメスに変えてやる

ああっ♡

あんッ

あッ♡

あ…あっ

期日まで十分な日数が
あるからな
お前を徹底的に調教して
楽しませてもらうぜ
美月♡

あ…はあ♡

そうだ…いいぞ
しっかりと
腰を振れよ

ギィッ

ギィッ

ギィッ





媚薬の効果は...もう
無いはずなのに...
どうして...こんなに
快感を感じるの...?

あつ♡
ゆきん

ああッ♡

あんっ♡

あッ♡

ああんっ

あはあ♡

あ...あつ

あつ♡

早くイカないと
お仕置きするからな

いいぞ...っ
その巨乳がもつと
揺れ弾むくらい
積極的に動けよ

あんッ♡

あ...はあつ

んあつ♡

あアッ♡

さあ、俺にお前の
エロいイキ顔を
見せてくれよ

この大きなモノで
膣奥を突かれて...
こんな強い快感を
受け続けたら...

嫌でも...すぐに
いつちやう...ッ

あはアッ♡

あアッ♡



最高のビデオ
映りになるぜ♡

この体位なら俺と
お前が繋がってる
のがよくわかって

この体位でお前が
絶頂して潮を吹く
ところを

しっかりと撮って
おかねえとな…っ

俺と美月が
愛し合ってる姿を
見せつけようぜっ

ハハハ…ッ

あ…あッ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

あッ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

あんッ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

あはあ♡

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

はあ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

あッ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

嫌あッ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

あッ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

あはあ♡

やっ

やっ

あッ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

あッ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ



学園長の計らいで俺は
しばらく教師の仕事を
休み雨宮美月の調教に
専念することになる

監禁して調教するため
雨宮美月も学園には登校
しないことになるが
それに関しては学園長が
なんとかごまかして処理
してくれるだろう

雨宮美月と雨宮麗子の
母娘二人を監禁調教するため
二人は当然消息不明になるわ
けだが
今まで何人もの女を拉致して
性奴隷にしてきた学園長の
裏組織ならそこらへんは任せ
て安心だな

あとは美月をしっかりと
調教して性奴隷にすることだ…
このままずっと手元に置いて
可愛がってやりたいところだが
しばらくは学園長に譲渡して
裏の客の奉仕奴隷としなければ
ならないのは本当に残念だ…

媚薬を追加で貰うには
あの高い金額もあるが
私用で使うという理由では
許可されないため
俺が他の女に使う場合は
美月に使用する分を
何とか抑える必要がある

とりあえずは媚薬の使用を
抑えて調教を完了させないと
いけない…
すでに身体のはうは快楽に
支配されて堕ちているように
みえるし
このまま問題なく美月を
性奴隷にできるだろう

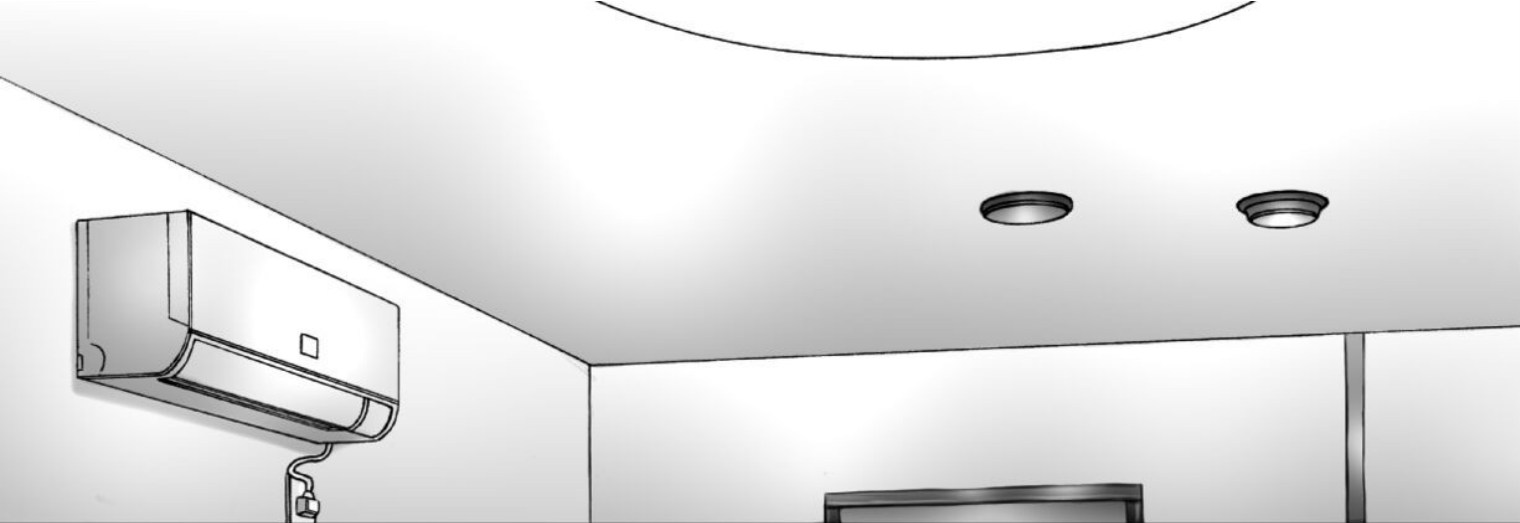
あとは俺個人で他の女を
拉致監禁してあの媚薬で
性奴隷にしまえばいい
…組織の協力なしではかなり
危うい事だが慎重に計画的に
実行すればいけるはずだ

美月を渡したあと
俺の元に戻ってくるまで
その性奴隷にする女を
調教して楽しめば俺の
性生活は充実したものに
なるだろうな…



時は遡り
雨宮麗子捕獲後
調教開始直前：





やはり髪を結わずに
下ろしたほうが
私の好みでいいな

しかし
この若々しい綺麗な肌に
ハリのある巨乳...
とても子持ちとは思えん

今日からお前は
私のものだ...これから
じっくりと可愛がって
やるからな

私に従順に奉仕する
性奴隷にしてやるぞ
雨宮麗子...

